こんにちは！松前町地域包括支援センターです♪

食べ物がおいしい季節です

楽しく食べて元気に！

秋が深まり、美味しい食べものが食卓に並ぶ時期です。皆さんはおいしく食べられていますか？食べることは、体を動かすための活動源「エネルギー」と生命維持に欠かせない「たんぱく質」を十分とるために必要です。体の働きや生活ができるように保つだけでなく、病気（感染症など）を予防するためにも大切なことです。

こんな人は要注意です！自分・家族・周囲の人に当てはまりませんか？

□物をかむ力や飲み込む力が弱いなど、体の理由で食べにくい人
□何かの理由で気分が落ち込み、食欲がなくなった人
□生活・活動が活発でなく、食欲がわかず食事が楽しめない人
□一人暮らしなどで料理をあまりしない人や大勢で食べる機会が少ない人など

上記に当てはまる人は、「歯などの治療を受ける」「生活リズムを整える」「好きなことを始める」「体を動かす」などを意識して食事ができるように改善しましょう。また、周囲の人は差し入れをしたり、一緒に食べたりして、お互いに顔を合わせ言葉を交わすことも大切です。

食べ物に関心を持ち、「食べること」を楽しむことが元気に過ごせるコツかもしれませんね。

問　健康課地域包括支援センター係　☎985-4205

ふるさと歴史散歩㊹

“片平騒動”の犠牲者・今村久兵衛ゆかりの地を訪ねる

（松前史談会レポート）

古川町は内川に沿って広がる純農村地帯であったが、昭和30年代以降急成長を遂げた住宅地―今やマンモス町―である。郷土誌「わが町ふるかわ」（平成12年発行・A4判115頁）は、“はじめに”において、「先人がいかに努力し苦難を克服して今日の輝かしい古川町の古い集落の姿や伝統文化、伝統行事などを築いてこられたかを私たちの手で書きとどめて後世に伝えたい…」と熱く語り、この手作りの集落史が、「明るく、住みよい古川の町づくり・地域づくり・ふるさとづくり」に役立つことを願うと結んでいる。

久兵衛が古川町の元となった久米郡片平村の里正（りせい）であった時、惨状が発生した。蒲生忠知（がもうただとも）の治世であったが、「一粒の収穫もなく、虫害の心配もあり焼き棄てる方が良い。税を見直して欲しい」という久兵衛の訴えは聞き入れられなかった。数日後の大風の日に火災が発生し稲が燃えてしまう。事件糾明のため多くの農民が拉致されたが解決は長引き、村人は大変な苦難であった。それを救うため、久兵衛が放火の罪を自訴し磔（はりつけ）になったという（御薗生竹崖（みそのうちくがい）“義民久兵衛に就いて”より）。位牌は長徳寺に祀られ、100年祭・300年祭が盛大に営まれ、感謝・尊敬の思いは今も続く。これが「わが町ふるかわ」が伝えようとする長徳寺境内の若宮社、古川二丁目墓地にある久兵衛の墓標とその御堂の由緒である。

今村久兵衛の位牌

松前史談会と今村久兵衛とのご縁は、次の通りである。

①鷺谷（さぎだに）墓地の入り口で、瑞穂建功命（みずほたていさおのみこと）（義農作兵衛のご神号）の石柱を見つけた。後日、宝厳寺・伊佐庭神社・鷺谷墓地を訪れたが、肝心の石柱はなくなっていた。だが、その近くで「義農大明神」の社を見つけた。ここに今村久兵衛が祀られ、施主・世話人・建立の趣旨が書かれていたのである。

②古川町の人たちからご協力、ご指導を頂きながらの調査が始まった。

③古川町の久兵衛顕彰の中心人物である月岡清美・松本幸男両先生から講演を頂いた（平成21年度第2回理事会）。以下は次号に。

11月14日（土）のふるさと歴史散歩は、窪田兵右衛門（くぼたひょうえもん）ゆかりの地を訪ねる。

8時30分、松前庁舎南駐車場集合。自家用車に乗り合わせて移動。

月岡・松本先生講演風景

問　松前史談会（鷲野）　☎984-5439

お詫びと訂正　10月号のふるさと歴史散歩の記事に誤りがありました。正しくは、次のとおりです。お詫びして訂正します。　（誤）妙園寺→（正）妙圓寺